

財団法人日本国際政治学会

2008年度事業計画書

・年次研究大会・研究会の開催

- 1 . 年次研究大会(10月24日 - 26日)をつくば国際会議場(茨城県つくば市)にて開催する。
- 2 . 企画・研究委員会が共通論題・部会、分科会責任者会議が分科会を企画し、会員からの自由応募に基づく部会・報告の機会を提供して、専門的な学術研究の動向を示し、会員が研究成果を発表して相互に交流を図ることのできる、充実した研究会を開催する。
- 3 . 多くの会員の参加が可能になるように、適切な広報を行い、参加予約手続きを簡略化し、会場設営についても託児所を設営するなどの工夫を払う。
- 4 . 公益的な事業を行う財団法人として、専門的な学術研究の成果を学会外に発信し、関心を共有する他領域の専門家や市民の方々との交流を図るために、部会の一部を一般公開形式で開催する。

・学会機関誌と『日本の国際政治学(全4巻)』の発行

- 1 . 和文機関誌『国際政治』は、第153号・154号・155号を特集号として、156号を独立論文特集号として発行する。特集号ではイシュー・地域・理論・歴史を柱として最新の学会動向を反映する。独立論文特集号では、会員からの論文の自由応募とレフェリー制度を活用して、学術研究の高い水準を維持しつつ、若手研究者が研究成果を発表する十分な機会を提供する。
- 2 . 英文ジャーナル *International Relations of the Asia-Pacific* は、Vol.8 No. 2, Vol. 8 No. 3, Vol. 9 No. 1 を発行する。論文の自由応募とレフェリー制度を活用し、最新の研究成果を反映しながら、国際的な学術交流の場として高い専門的な水準を維持する。
- 3 . 設立から半世紀を経た学会活動を記念し、『日本の国際政治学(全4巻)』を発行する。

・ニューズレターの発行と学会ホームページの運営

- 1 . 評議員会・理事会・各種委員会・分科会・事務局の組織的な活動状況とその方針について情報を発信し、会員からのさまざまな意見を受け止め、会員相互の情報交換を図るよう、ニューズレター(和文)115号から118号を発行し、ウェブ上に学会ホームページを掲載する。

. 国際学术交流の促進

- 1 . International Studies Association (ISA) 、 WISC(World International Studies Committee)など 諸学会の動向や情報を会員に伝達し、 広報を行い、 会員の国際学術会議への参加を促進する。
- 2 . さまざまな国際学術会議への参加を促し、 会員がより充実した研究成果の発表や研究交流を促進できるように、 公募・審査制度を踏まえて選考された一定数の会員に渡航費などの助成を実施する。
- 3 . 研究大会時の国際セッションの企画を中心に、 韓国国際関係学会 (KAIS: Korean Association of International Studies) との交流をさらに促進する。
- 4 . 諸地域や諸外国との学术交流をさらに活発化する。

. 学会賞の創設

1. 若手会員の独創的な研究を奨励する目的で、 2008 年度より学会賞を創設する。 学会賞選考規程を定め、 学会賞選考委員会が選考を実施する。

. 総会・評議員会・理事会の開催

1. 上記の事業の決定や承認、 実施のために日本国際政治学会は、 評議員会を 2008 年 5 月、 10 月 (2 回) に開催する。 理事会を 5 月、 7 月、 10 月、 12 月、 2009 年 2 月 (5 回) に開催する。
- 2 . 総会を 2008 年度 10 月研究大会 (つくば国際会議場) 時に開催する。

以上。